

奈良理学療法学 投稿・執筆規定

1. 本誌の目的

- ① 理学療法またはそれに関連する分野の研究報告
- ② 理学療法士の卒後継続教育の奨励
- ③ 理学療法及び関連分野における最近の傾向や成果の掲載
- ④ 理学療法の発展にかかわる記録

2. 投稿記事(論文)の種類

- ・ 原著：論理的かつ明確な構想に基づき，研究結果をまとめて，ある結論を与えたもの
- ・ 短報：原著に近いもので，結論の速報・略法として書く
- ・ 症例報告：症例の臨床経験や臨床的問題について研究を行い，考察を行ったもの
- ・ 総説：あるテーマについての総説および解説

3. 投稿者の資格

- ・ 本誌への投稿は原則として本会員に限る。但し，奈良県理学療法士会学術誌部の決定により，会員外の著者に投稿を依頼する場合がある。

4. 論文の構成

- ・ 表題：内容を具体的かつ的確に表し，できるだけ簡潔に記載する。
- ・ 著者名：著者が 3 名以上の場合は，研究・執筆に寄与するところの多い人を必要最小限に記載する。
- ・ 要旨：目的，方法，結果，結論を簡潔に記載する。
- ・ キーワード：表題および要旨より抽出し，不十分な場合は本文から補充する。国際的に広く通用する言語または日本語で表示する。
- ・ 本文：
 - はじめに：研究，調査，総説などの経緯，背景，意義などを述べた導入部分
 - 対象および方法：用いた理論，条件，材料，手段，方法，手順などの記述。方法・テクニックについては追試できるように記述。対象者の保護に留意し，倫理的な配慮に関する記述をすること。
 - 結果：実験的・理論的な結果，データなどの記述
 - 考察：結果の分析・検討，結果の比較・評価，問題提起，今後の課題，示唆・勧

告などを記述

- ・ 図・写真・表：図・表は本文に出てくる順に、それぞれ一連の番号を付ける。図の番号および説明は図の下に、表の場合は表の上につける。
- ・ 文献：引用文献のみとし、必要最低限にとどめる。本文の引用順またはアルファベット順に並べ、該当箇所の右肩に一連番号をつける。

5. 執筆要項

執筆字数

本文から引用文献までで下記の字数以内とする。

- ・ 「原著」, 「症例報告」, 「総説」, 「調査」 400 字×30 枚以内
- ・ 「短報」 400 字×15 枚以内

※ 図表は 1 個を 400 字詰め原稿用紙 1 枚として換算すること。

具備すべき点

- ① 他紙に発表, または投稿中の原稿でないこと。
- ② 規定枚数を超過しないこと。
- ③ 論文には 400 字程度の要旨, キーワード (3 個) をつける。
- ④ 単位は原則として国際単位系 (SI 単位) を用いる。
- ⑤ 略語はカッコ内にフルスペルで記載する。
- ⑥ 句読点は「,」「。」で統一する。
- ⑦ 引用文献は必要最小限にし, 本文の引用順に並べる。雑誌の場合は著者氏名, 論文題目, 雑誌名, 巻, 号, 頁 (最初-最終), 西暦年号の順に書き, 単行本の場合は著者氏名, 書名, 編集者名, 発行所, 発行地, 年次, 頁を記載する。文献の省略は Index Medicus などに従う。引用文献の著者氏名が 2 名以上の場合には最初の 1 名を書き, ・他, または et al とし, 抄録を引用する場合は最初の著者氏名のみとする。

例)

- (1) 小室 透・他:片麻痺の運動時皮膚温変化.理学療法学 18(1): 5-11,1991.
- (2) Hulme JB, et al.: Communication between physicians and physical therapists. Phys Ther 68(1): 26-31, 1988.
- (3) 千野直一:臨床筋電図・電気診療学入門,医学書院,東京,1977,pp 102-104.
- (4) Desmedt JE, et al.: Progress in Clinical Neurophysiology. (ed. by Desmedt JE), Vol. 8, Karger, Basel, 1980, pp 215-242.
- (5) 野島元雄:進行性筋ジストロフィー症,各種神経筋疾患.「リハビリテーション医学全書 20」上田 敏(編),医歯薬出版,1975,pp 160-269.

- ⑧ 必要がない限り表に縦線は使用しない。

- ⑨ 図および写真は白黒とし、写真は原寸印刷が可能なように、横は 8cm または 16cm のいずれか、縦は 9cm 以下の大きさとし、番号を写真の裏および台紙に記し、番号順に台紙に軽く貼り付けする。
- ⑩ 表および図（写真）の挿入位置は本文の右欄外に指示する。
- ⑪ 原稿には表紙を含め、ページ数を記入する。

6. 原稿送付に際して

- ① 原稿はメールあるいは簡易書留で 3 部送付すること。簡易書留で送付する際は、うち 2 部は所属施設名、著者名を記載していないものを送付する。
- ② 責任著者の連絡先を明記する（住所、電話、E-mail アドレス）。
- ③ 送付先 〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中 4-2-2

畿央大学 健康科学部理学療法学科 岡田 洋平（学術誌部部長）
y.okada@kio.ac.jp

7. 原稿の採択

原稿の採択と掲載巻は学術誌部において決定する。査読の結果、編集方針に従って、加筆・削除および一部書き直しをお願いすることがある。また、学術誌部の責任において字句の訂正をすることがある。

8. その他

- ① 著者校正は原則として 1 回とします。校正は赤字でお願いします。
- ② 別刷り：別刷 30 部を無料進呈します。